

市区町村名	長野県佐久市	担当部署	企画部 広報広聴課
		電話番号	0267-62-3075

## 1 取組事例名

日本初！自治体が運営する Slack を活用した移住のオンラインサロン「リモート市役所」

## 2 取組期間

令和2年度～（継続中）

## 3 取組概要

「リモート市役所」とは、ビジネスチャットツール「Slack」を使い、移住や暮らしの相談などに対応する移住の新しいプラットフォームです。佐久市や移住のリアルな情報発信や、市民との気軽な情報交換を行っています。さらに、佐久市や移住の課題に対してアイデアディスカッションを行い、課題解決につながるアイデアの実現に向けた取り組みを行っています。

令和3年7月には、リモート市役所内の投稿から着想・企画した試住の支援&補助金サービス「Shijuly（シジュリー）」を発表しました。令和3年8月には、リモート市役所課長・職員を募集し、課長を中心とした新企画「FM リモート市役所」などのコンテンツを中心にコミュニケーションの活性化を行ってきました。

## 4 背景・目的

### 背景

コロナ禍でのシティプロモーションを考えたとき、実際に佐久市を訪れなくても、佐久市や移住に興味のある人が、リアルな情報を気軽に受け取ることができる施策を実施したいという思いから本企画が生まれました。

### 目的

移住・定住及び関係人口の増加、シビックプライドの向上

## 5 取組の具体的内容

リモート市役所は、市民や移住希望者、関係人口など、さまざまな立場の人とコミュニケーションがとれる、移住の新しいコミュニケーションプラットフォームです。リモート市役所内では、佐久市の生活について、ポジティブなところだけでなく、ネガティブなところも含めて、住むうえで知っておきたいリアルな情報のやり取りができます。

▼自動車の購入に関する質問に対して、市民が自身の経験をもとに回答している様子



「子育て」や「飲食」、「移住の質問部屋」などテーマごとにチャンネルが分かれており、興味があるチャンネルで情報を収集したり、発信したりできます。投稿に対してコメントはもちろん、様々なスタンプを使ってリアクションすることもできます。

▼写真のチャンネルでは佐久市の風景などが投稿されています



アイデアのチャンネルでは、情報のやり取りだけでなく、「こんなことがあったらいいな」等のアイデアを参加者でディスカッションしています。令和3年7月に発表した試住の支援&補助金サービス「Shi July（シジュリー）」は、リモート市役所内での試住に関する問い合わせの声を受けて企画が生まれました。サービス開始に向けて、リモート市役所内で試住に関するお困りごとを話し合い、サービスに反映するプレスト会を実施しました。さらに、市内のエリアごとの情報は、リモート市役所内で呼びかけをして、より佐久

市のリアルな生活に近い情報を集めました。

▼リモート市役所参加者から集まった情報をもとに作られた「Shijuly」



6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

独自性・新規性

自治体が運営する Slack を活用した移住のオンラインサロンはこれまでに例がなく、日本初の取組です。

工夫した点

① 各種イベントの実施

リモート市役所をより多くの人に認知してもらうために、サービス開始直後に全 4 回のオンラインイベントを実施しました。移住を考える際に重要な要素となる「仕事」や「子育て」等をテーマに、佐久市にゆかりのある方やインフルエンサーをゲストとして招き、クロストークを行いました。

また、登録者数 1,000 名達成記念として佐久市の特産品を抽選でプレゼントする企画や、副業人材としてリモート市役所の課長・職員を募集する企画など、参加者のエンゲージメントを高めるためのイベントを実施してきました。



## ② リモート市役所課長・職員の任命

参加者が主体となってリモート市役所を盛り上げてもらうために、リモート市役所課長・職員を任命しました。課長が中心となって音頭を取り、web 会議システムを使ったオンライン交流会や、音声で佐久市の魅力を発信する「FM リモート市役所」を企画する等、Slack 上だけでのやり取りに留まらず、参加者同士の交流が生まれました。

### ▼リモート市役所職員のオンライン交流会



## 7 取組の効果・費用

### リモート市役所の参加状況

令和 4 年 5 月現在、約 1,800 名の方がリモート市役所に参加しています。  
投稿数は約 4,500 件、リアクション数は 12,000 件超と活発なコミュニケーションが生まれています。

### 参加者の声

リモート市役所参加者を対象にしたアンケートでは、89.3%の人が「佐久市を先進的な街だと思った」、関係人口の 81%が「佐久市に行ってみたくなった」と回答し、佐久市への興味関心が高いという結果を得られました。

### 受賞歴

シティプロモーションアワード 2021 金賞・未来創造賞  
PR アワード 2021 ブロンズ  
第 14 回 日本マーケティング大賞 奨励賞

### 波及効果

令和 4 年 5 月、リモート市役所を参考にした、Slack を活用した移住のオンラインサロン「バーチャル北九州市」が北九州市で開設されました。

### 費用

令和 2 年度シティプロモーション推進事業：25,000,000 円（地方創生推進交付金を活用し 1/2 助成）  
内リモート市役所の立ち上げに係る費用：約 10,000,000 円（企画費、ランディングページ制作費、デザイン費、記者発表会の実施等）  
Slack は無償（フリープラン）で利用しているため、費用は発生していません。  
リモート市役所課長に対し、任用期間（令和 3 年 8 月～令和 4 年 3 月）に謝礼として毎月 5 万円を支払いました。



## 8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦勞した点）

### 課題点

投稿が全くない日が数日続いてしまった

### 解決策

毎月運用会議を実施し、リモート市役所を盛り上げるための投稿を1か月分考え、運営メンバーで分担し投稿しています。その際、投稿して終わりにならないように、例えば「おすすめのラーメン屋さんを教えてください！」など、市民がコメントしやすいような質問形式の投稿にしたり、寒くなってきた時期に温泉に関する情報を投稿するなど季節感のある内容を意識したりしています。

## 9 今後の予定・構想

リモート市役所の参加者を対象としたアンケート結果から、参加者同士の交流を望む声が多いということがわかりました。リモート市役所課長・職員を巻き込みながら、リモート市役所へのエンゲージメントが高まる企画を実施していきたいと考えています。

## 10 他団体へのアドバイス

Slackは無償（フリープラン）で利用できるため、どこの自治体でも実施できる企画です。

コミュニティを運営するにあたっては、大勢の協力者を巻き込むことが成功のポイントだと思います。自治体職員はもちろん、キーパーソンとなるような住民を巻き込むことができればコミュニティが活性化しやすくなります。

リモート市役所の取組に興味をもっていただけたらぜひお気軽にお問い合わせください。

## 11 取組について記載したホームページ

リモート市役所ホームページ

<https://www.city.saku.nagano.jp/outside/citypromotion/salon/>

Shijuly ホームページ

<https://www.city.saku.nagano.jp/outside/citypromotion/shijuly/>